

# 期 道徳教育改善のための振り返り

担任学級

担当教科

評価期間      年      月      日    ～      年      月      日

自己評価      A：良くあてはまる    B：あてはまる    C：あまりあてはまらない    D：あてはまらない

	項 目	自己評価
計 画	1 全教師が全体計画の作成に参加して方針や重点目標などを共通理解し、協力して道徳教育を行った。	A B C D
	2 重点目標の設定と指導の重点化は地域、学校、生徒の実態に照らして適切だった。	A B C D
	3 家庭・地域及び全教師の声を活かして、全体計画等の一層の改善、充実を図った。	A B C D
連 携	1 全体計画等の公表や道徳科の授業公開等を行い、家庭や地域との共通理解や連携・協力を図った。	A B C D
	2 道徳の授業に保護者や地域の人々、各分野の専門家等に参加してもらうなどの工夫をした。	A B C D
	3 関係諸機関、関係諸学校(特に小学校)との連携を活かして道徳教育の充実を図った。	A B C D
道 徳 科	1 特定の価値観を押し付けず、多様な価値観に誠実に向き合い、考え続けようとする姿勢を培った。	A B C D
	2 22項目の内容を全て扱い、さらに重点目標に基づいた補充的・発展的指導を行った。(学年末に記入)	A B C D
	3 言語活動を計画的に充実させ、「考える道徳」「議論する道徳」の実現を図った。	A B C D
	4 校長・教頭を含め、学級担任以外の教師が道徳の授業を行う、または参加するなどの工夫をした。	A B C D
道 徳 科 以 外	1 担当教科の特質を生かし、教科の指導事項に関連する道徳的価値について計画的に指導した。	A B C D
	2 教科指導が向上心、真理の探究、克己、相互理解、寛容、その他の道徳性の育成につながった。	A B C D
	3 総合学習が主体的判断力、課題解決力、他者との協働、その他の道徳性の育成につながった。	A B C D
	4 特別活動が自他の尊重、自治的態度、自己実現、社会貢献、その他の道徳性の育成につながった。	A B C D
	5 生徒が伸びやかに自分の感じ方や考え方を述べ合い、聞き合えるような学級づくりができた。	A B C D
評 価	1 よりよい生き方を求める努力と成長を様々な方法で捉え、生徒が自らの成長を実感できるような共感的な評価をして、さらなる意欲を引き出した。	A B C D
	2 他の生徒との比較による評価や目標への到達度を測る評価はせず、あくまで個人内評価を行った。	A B C D
	3 多面的な見方への発展及び道徳的価値の内面的深化を重視して、組織的・計画的に評価した。	A B C D
	4 録画、他の教師による評価などを活用して自己の指導過程や指導方法を評価し、改善に努めた。	A B C D
そ の 他	1 学習上の困難を持つ生徒については、困難さの状態を正しく把握した上で、指導や評価を行った。	A B C D
	2 職場体験、自然体験、奉仕活動、地域行事等の体験活動を充実させ、道徳的価値に結びつけた。	A B C D
	3 道徳教育がいじめの防止や安全の確保等につながった。	A B C D
	4 道徳教育推進教師は、道徳科及び教育活動全体を通じて行う道徳教育推進の中心となった。	A B C D
	5 全教師が参加して道徳教育に関する研修を行い、道徳教育の充実を図った。	A B C D
その他	ワーク・ライフバランスに留意して私的生活を充実させ、自らの豊富な経験と広い視野を活かして、豊かな気持ちで指導した。	A B C D